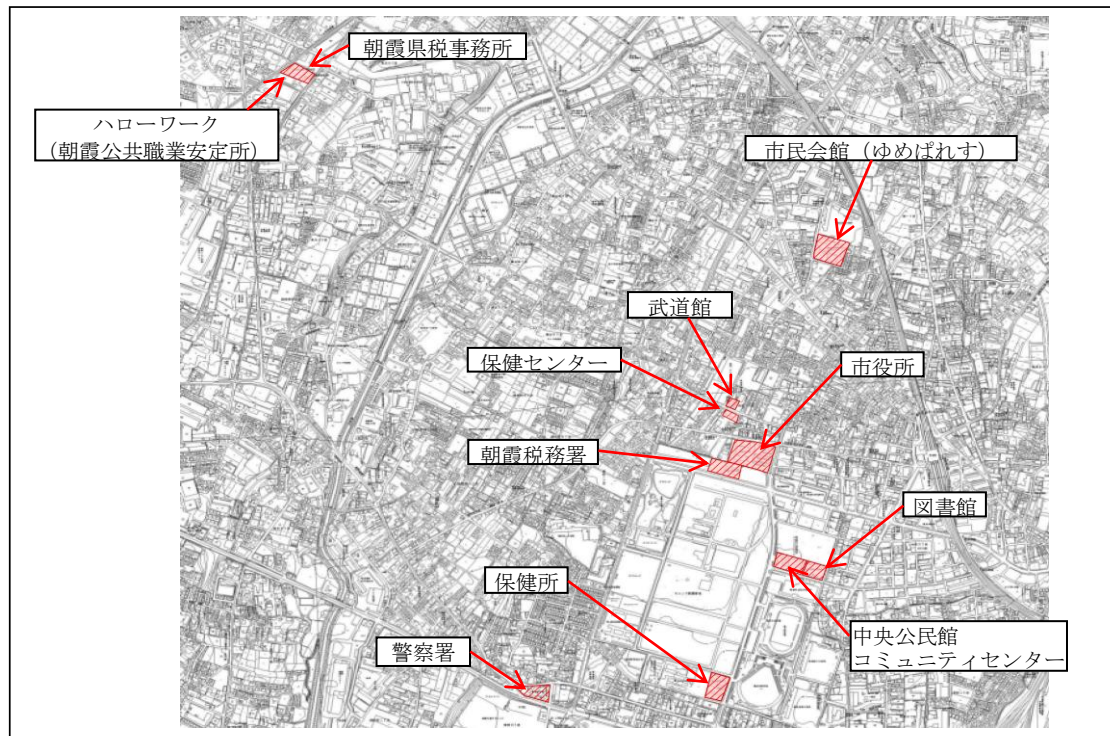


複合公共施設用地の配置 【現行】

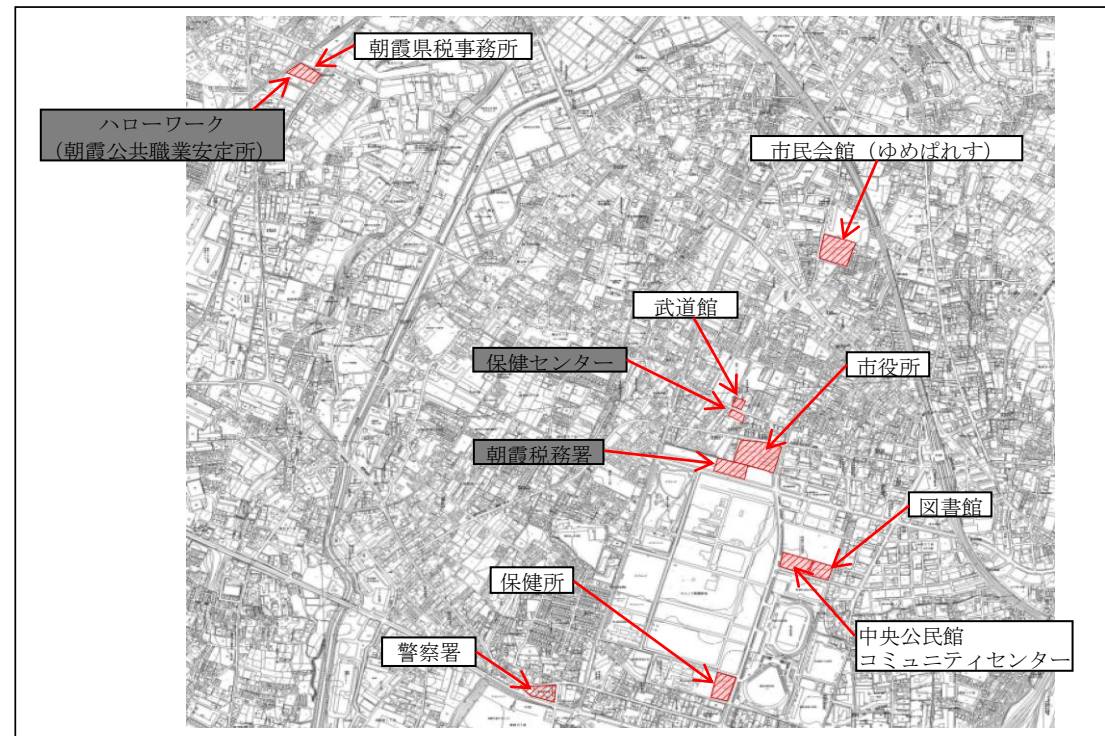
○周辺の公共施設の概要



	施設名	施設概要			
国	朝霞税務署	敷地面積：5,000 m ²	延床面積：3,530 m ²	容積率：71%	建築年次：H4年
	ハローワーク	敷地面積：401 m ²	延床面積：546 m ²	容積率：136%	建築年次：S48年
県	朝霞県税事務所	敷地面積：3,573 m ²	延床面積：1,219 m ²	容積率：34%	建築年次：S47年
	保健所	敷地面積：5,000 m ²	延床面積：1,593 m ²	容積率：32%	建築年次：S58年
	警察署	敷地面積：4,999 m ²	延床面積：3,871 m ²	容積率：77%	建築年次：S40年
市	中央公民館・コミュニティセンター	敷地面積：5,000 m ²	延床面積：4,169 m ²	容積率：83%	建築年次：S59年
	図書館	敷地面積：3,500 m ²	延床面積：2,752 m ²	容積率：78%	建築年次：S62年
	市役所	敷地面積：12,402 m ²	延床面積：9,839 m ²	容積率：79%	建築年次：S47、H4年
	市民会館	敷地面積：8,612 m ²	延床面積：6,958 m ²	容積率：81%	建築年次：S51、H9年
	保健センター	敷地面積：2,245 m ²	延床面積：1,906 m ²	容積率：85%	建築年次：S54年
	武道館	敷地面積：2,114 m ²	延床面積：932 m ²	容積率：44%	建築年次：S51年

複合公共施設用地の配置 【見直し】(案)

○周辺の公共施設の概要



	施設名	施設概要			
国	朝霞税務署	敷地面積：5,000 m ²	延床面積：3,530 m ²	容積率：71%	建築年次：H4年
	ハローワーク	敷地面積：401 m ²	延床面積：546 m ²	容積率：136%	建築年次：S48年
県	朝霞県税事務所	敷地面積：3,573 m ²	延床面積：1,219 m ²	容積率：34%	建築年次：S47年
	保健所	敷地面積：5,000 m ²	延床面積：1,593 m ²	容積率：32%	建築年次：S58年
	警察署	敷地面積：4,999 m ²	延床面積：3,871 m ²	容積率：77%	建築年次：S40年
市	中央公民館・コミュニティセンター	敷地面積：5,000 m ²	延床面積：4,169 m ²	容積率：83%	建築年次：S59年
	図書館	敷地面積：3,500 m ²	延床面積：2,752 m ²	容積率：78%	建築年次：S62年
	市役所	敷地面積：12,402 m ²	延床面積：9,839 m ²	容積率：79%	建築年次：S47、H4年
	市民会館	敷地面積：8,612 m ²	延床面積：6,958 m ²	容積率：81%	建築年次：S51、H9年
	保健センター	敷地面積：2,245 m ²	延床面積：1,906 m ²	容積率：85%	建築年次：S54年
	武道館	敷地面積：2,114 m ²	延床面積：932 m ²	容積率：44%	建築年次：S51年

①朝霞税務署 ⇒ 現地で耐震化、建替え等
 ②ハローワーク ⇒ 税務署東側に移転予定
 ③保健センター ⇒ アクションプランで移転検討 } ※移設・集約の対象外とする。(=右表の黒塗り施設)

【仮定条件】

- ・上表の11施設について『複合公共施設用地』への移設・集約化を仮定する。
- ・計画延床面積=現況延床面積(約37,000 m²) × 1.2 = 44,400 m²
- ・敷地面積 = 44,400 m² ÷ 200%* = 22,200 m² ≒ **2.0ha** ※基準容積率 200%

【仮定条件】

- ・上表の8施設について『複合公共施設用地』への移設・集約化を仮定する。
- ・計画延床面積=現況延床面積(約31,000 m²) × 1.2 = 37,200 m²
- ・敷地面積 = 37,200 m² ÷ 200%* = 18,600 m² ≒ **1.8ha** ※基準容積率 200%

○複合公共施設用地への移設・集約を想定する施設の敷地面積が、約1.8ha(現行計画より約0.2ha減)となる。
 ○現行の複合公共施設用地(2.0ha)と、図書館北側公園用地(1.7ha)の土地利用を交換することで、基地跡地中心の公園エリアの一体利用が可能となるとともに、図書館北側の用地と、隣接する図書館及び中央公民館(複合施設への移転集約対象)用地(0.85ha)を合せて事業エリアとすることで、幅広い整備の検討が可能となる。